

公益社団法人 日本技術士会 神奈川県支部
第18回テクノセミナーHP 報告書

| | |
|-------------------|--|
| 開催日 | 平成29年11月25日(土) |
| 開催時間 | 13:30~16:30 |
| 名称 | 第18回 テクノセミナー |
| 主催者 | 技術士活性化委員会 |
| 開催場所 | 横浜市技能文化会館大研修室802 |
| 行事内容 (100文字程度) | 【やる気を引き出し、「利益」を上げよう！】 社員のやる気(モチベーション)を高めるために、中小企業にとって効果的な基本メニューを提供すると共に、あらゆる改善活動の評価に結び付く原価のしくみをわかり易く説明し、原価低減活動の進め方及び実際の活動事例を紹介する。 |
| 参加人数 | 一般企業 6名、正会員 35名、準会員 1名、非会員(技術士) 1名、計 43名 |

概要

講演1:「社員のやる気を高めるための取り組み」

講師: 安慶田 弘 技術士(経営工学)

業種・規模の異なる中小企業5社の“社員のやる気を高める”取り組みについて、その会社の置かれている背景(たたづまい)とともに、具体的な活動事例が紹介されました。その上で、社員に会社との一体感を持ってもらうためのポイントである、人材育成の取り組み、公正な評価と処遇、及び社員の努力に報いる表彰の切り口で整理され、それぞれにおける具体的なメニューといくつかの活動事例の紹介がありました。

講演2:「原価のしくみを理解した改善活動が、社員のやる気を高める」

講師: 島崎 浩一 (株)浜テクアート代表取締役社長(中小企業診断士)

改善活動で継続的に成果を出すためには、“気づき→やる気→習慣化”のプロセスが成り立つことが重要であること、また改善活動はその成果が個人の利益(物質面だけでなく)に結びついたときに大きな“やる気”につながることの解説がありました。続いて、原価の構成要素を含め、原価計算のしくみ、コストダウンの着眼点などを確認した上で、改善活動の進め方、N改善(日常問題の改善)・A改善(あるべき姿に向けた改善)へのアプローチについての解説に続いて、多くの改善活動事例の紹介があり、やる気を高めることの相乗効果を理解することの大切さも指摘されました。



講演風景(安慶田氏)



講演風景(島崎氏)